

評価細目の第三者評価結果 (障害者・児福祉サービス版)

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
A① A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 利用者の意思決定支援の観点から、個別面談の中で希望や意向などを聞き取り、利用者の意思を尊重し、個別支援計画に反映させている。モニタリングで新たな課題やニーズが明らかになれば、部署ごとに話し合いが行われ、直ちに対応している。また、利用者懇談会やなんでも相談があり、利用者の意見を広く聞き取る場が設けられている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-1-(2) 権利擁護

	第三者評価結果
A② A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	(a) c
<p>良い点/工夫されている点： 虐待防止、身体拘束のマニュアルが整備され、事務所に配置してある。また、朝礼や会議等での話し合いや、毎月の虐待防止チェックの実施を通じて、人権擁護や虐待防止に係る職員の意識を高めている。また、ヒヤリハットを活用し、事故防止につなげている。現在はコロナ禍の状況にあり、権利擁護に関する研修についてもオンライン研修を受講している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本

	第三者評価結果
A③ A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 本人の主体性を尊重した寄り添う支援に努めるとともに、利用者の潜在的な強みを引き出す観点からアセスメントを実施し、個別支援計画に反映させ、計画に基づいた支援にあたっている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
A④ A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	(a) b・c

<p>良い点／工夫されている点： 一人ひとりの特性に応じた支援を行っている。視覚障がいや聴覚障がいがある利用者に対しても筆談、手話、タイマー、携帯、スマホのアプリ等、意志疎通ができやすいものを駆使して、コミュニケーションを図っている。また、施設外のサービスを活用したり、地域の交流会やサークルに参加している利用者もいる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 相談箱の設置やなんでも相談の開設の他、日々の支援の中で、その場その場での話し合いやひとりずつの面談の場を設け、利用者の意思を尊重する支援としての相談体制ができている。相談内容については支援会議で話し合い、対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 現在はコロナ禍のため、活動が制限的にならざるを得ない状況にあるが、利用者のニーズに応じて、個別支援計画に基づき、例えば、体育館やプールへの参加やDVD観賞の支援を行っている。個別支援計画については、6か月ごとに利用者の意向を確認しながら、見直しをしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 利用者の状況をモニタリングし、それぞれの障がい特性の理解に努めている。利用者の意見や要望を踏まえて個別支援計画を見直し、各部署会議で利用者それぞれの個性や障がい状況に合わせた支援方法を検討している。また、毎月の研修を通して、障がい特性や利用者理解についての学びを深めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-2-(2) 日常的な生活支援

		<p>第三者評価結果</p>
<p>A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>	
<p>良い点／工夫されている点： 就労支援事業所であるため、食事介助、入浴介助、排泄介助等の支援は原則行わないが、利用者一人ひとりの障がい特性を把握し、個別支援計画に織り込んで、それぞれに合わせた生活支援や作業支援を行っている。</p>		

改善できる点／改善方法：

A-2-(3) 生活環境

		第三者評価結果
A⑨	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： トイレや生活環境は清潔に保たれ、安心安全な日中活動に配慮されている。また、作業活動も利用者の障がい特性に合わせてできるよう工夫されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

		第三者評価結果
A⑩	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 個別にマニュアルを作成し、作業アドバイスをを行っている。また、利用者の心身の状況に応じて、個別に訓練を行うことで、活動の幅が広がっているとのも事であり、利用者主体の訓練となっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

		第三者評価結果
A⑪	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 利用者の健康状態については、日常的な作業活動支援や生活支援の中で観察し、朝礼や日誌等を通じて職員間で共有している。事業所での身体の様子については、連絡ノートに特記し、家族に報告をしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
A⑫	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 非該当項目</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A13 A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 現在は、コロナ禍の影響で、制限的にならざるを得ない状況にあるが、例年、園の行事等での地域社会との交流や地域の夏祭り等の行事に参加するように促している。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A14 A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者の意向を尊重し、それぞれの個性や障がい特性を踏まえ、作業活動や日常生活活動を通じて、地域生活の継続に向けた支援を行っている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A15 A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 現在は、コロナ禍のため、家族との交流や連携が困難な状況にあるが、その中でも、連絡ノート等を用い、家族とやり取りを行っている。また、緊急時やいつもと様子が違う場合等は、いち早く家族と連絡を取ることができる体制にある。	
改善できる点／改善方法：	

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援

	第三者評価結果
A16 A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 非該当項目	
改善できる点／改善方法：	

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援

	第三者評価結果
A⑰ A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点： 障がい特性に合わせてできる作業、できない作業と分けるのではなく、利用者の意思を尊重して作業に取り組めるよう作業環境を工夫する等、本人の潜在的な可能性を引き出す支援を行っている。また、利用者が自発的に考えて動けるように支援している。ハローワークや障害者就業・生活支援センター等関係機関と連携関係ができています。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
A⑱ A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点： 利用者の身体状況に応じた内容、仕事時間に配慮し、障がい特性を考慮した作業を提供している。利用者主体で、作業が進められるよう支援している。その日の作業工程を始業前に説明し、確認を行う等しながら、計画にも組み込んでいる。また、定期的に工賃支払い要項について説明を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
A⑲ A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点： 本人に合った職場開拓ができるようアセスメントを実施している。一般就労の場合、障がい者就業・生活支援センター等、関係機関と連携し、情報収集や定着支援等を行っている。また、作業の幅を拡充すべく業者との連携を深めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-5 県独自項目

A-5-(1) 職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
A⑳ A-5-(1)-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点： 職員のスキルの段階に合わせた計画的な研修制度があるが、現在はコロナ禍のため、研修を定期的にオンライン研修として行っている。また、e-ラーニングを活用する等して、援助技術を学ぶことで職員のスキルの向上を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-5-(2) IT技術や知識の修得

	第三者評価結果
<p>A② A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要となるIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。</p>	<p>a b c</p>
<p>良い点／工夫されている点： IT技術の活用は時代のトレンドであり、事業所内のWi-Fi環境の整備等、インターネット技術提供の推進が可能な状況にある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 今後、利用者が興味を持てるように働きかけを工夫する等、IT技術の習得支援に向けた取り組みに期待したい。</p>	